



## 兵庫県日赤有功会会長が交代されました

このたび北村喜八郎兵庫県日赤有功会会長がご退任されることになり、その後任として会長に就任させていただきましたこととなりました桑田純一郎でございます。

県内では3月1日に新型コロナウイルス感染症患者の発生が発表されて以来、今日までに沢山の感染者の報道が続いており、加えて今後第2波、第3波の感染拡大を警戒する等、いまだ出口を見出すことができない状況が続いており、有功会会員の皆様も感染予防のためご心配と併せてご不自由な日々を続けておられることと推察いたします。

有功会の事業も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、総会の中止をはじめとして変更や見直しを迫られ、十分な活動ができない状況にあります。

一方、日本赤十字社は「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ため、新型コロナウイルス感染症の患者さんへの対応を継続するとともに、国の内外を問わず、苦しんでいる人に寄り添い、その支えとなって日々活動を行っています。

当会といたしましては、絶え間なく続けられる赤十字の人的活動を支援するため、赤十字活動の普及促進を図り、より一層の力添えができればと考えております。

つきましては、今後とも本会の事業推進に微力ながら努めてまいり所存でございますので、会員の皆様には前任の北村喜八郎会長と同様、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、就任のご挨拶とさせていただきます。



## 兵庫県日赤有功会とは

兵庫県日赤有功会とは、赤十字の人的使命を広め、社会の福祉と世界の平和に寄与する事を目的に、日本赤十字社の活動に対して多大な貢献をされたことにより、国や日本赤十字社の表彰を受章された方々が組織する会です。

昭和40年に結成され、現在では400名を超える会員が在籍し、結成以来これまで幾多の大災害や長引く経済不況に見舞われながらも、赤十字活動を常に支え続けてきました。

活動内容は、血液事業の支援、看護学生への修学奨励、青少年育成活動に対する支援、海外たすけあいへの支援等多岐に渡り、また、会員相互の親睦を図るべく、赤十字ゆかりの地を訪問する視察旅行や日帰りの親睦交流会等の事業も実施しています。

このたび、新会長として桑田純一郎会長にご就任いただきました。ウィズコロナの時代においても、赤十字活動への変わらぬご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 応募者プレゼント

「レスキューフーズ×3食(牛丼・シチューライス・中華丼)+ビスコ×1袋」セットを3名様に!  
たくさんのご応募、お待ちしております!

抽選で3名様

地震や集中豪雨などの大きな災害が発生し、地域の物流が止まってしまった場合に、自分や家族を守るため、各家庭に合わせた食料を普段から備えておくことはとても重要です。電気や水道などのライフラインが止まっても生活できるように、非常食と家にあるものを組み合わせて、1週間乗り切れるように食料や飲料水などを準備し、家庭内備蓄を行いましょう。また、非常時も健全な食生活が営めるようにバランスよく食べることも大切です。災害時に慌てないためにも、日ごろからの備蓄を今一度見直してみませんか?



保存性の高い食料も日常的に食べて買い足す備蓄法「ローリングストック」もおススメです。

### 応募方法

①氏名②郵便番号③住所④性別⑤年齢⑥電話番号の本誌でよかった記事(複数回答可)⑦赤十字病院、血液センターへのメッセージ(任意)をメールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります! **メ切りは2020年9月30日必着。**

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。

メール [shinko-ka8921@hyogo.jrc.or.jp](mailto:shinko-ka8921@hyogo.jrc.or.jp) ★件名に「応募者プレゼント」とご記入ください。  
はがき 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5 日本赤十字社兵庫県支部 応募者プレゼント係



## 兵庫県支部主催の講習について

講習についての最新情報につきましてはホームページにて随時発信しています。  
ホームページにてご確認くださいかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ **Tel. 078-241-1499**  
ホームページ(講習のページ) <https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

### 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役に立てほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは☎078-241-8921(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

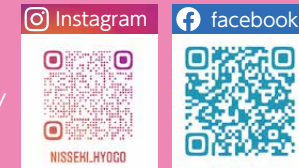
赤十字 兵庫 検索 <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>



▲令和2年7月豪雨災害に係る熊本県保健医療調整本部において本部活動を行う神戸赤十字病院DMAT隊員

- 令和2年7月豪雨災害に係る日本赤十字社の医療救護活動について
- 学生ボランティア団体「Love the worldz」のオンラインイベントに参加
- 令和2年度第1回青少年赤十字活動運営会議をWebで開催
- 青少年赤十字加盟校へひまわりの種を贈呈しました
- 兵庫県日赤有功会の会長が交代しました ● 備蓄のススメ(応募者プレゼント)

■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



ひょうごの赤十字+

2020

9



## 令和2年7月豪雨災害に係る日本赤十字社の医療救護活動について

令和2年7月3日からの大雨により、九州地方をはじめ、広域にわたり甚大な被害が生じました。日本赤十字社では、災害発生当初より医療救護活動や救援物資の配布などの救護活動を展開しています。



Atsushi Shibuya

兵庫県からは、7月17日からの9日間、熊本県庁内に設置された熊本県保健医療調整本部へ、神戸赤十字病院のDMAT\*隊員1名を派遣しました。

\*DMAT (Disaster Medical Assistance Team) : 災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム

7月17日(金)～25日(土)の9日間、私は今回の豪雨災害により甚大な被害にあった熊本県に、DMATロジスティクスチーム3次隊として派遣され、熊本県庁内に設置された熊本県保健医療調整本部における本部活動に参加しました。主な業務は、現地で活動する医療チームの管理でした。日赤、DMATの他にもJMAT(日本医師会災害派遣チーム)、DPAT(災害派遣精神医療チーム)、HuMA(災害人道医療支援会)等、多数の団体が活動しており、それらの団体の活動場所や活動期間を調査して報告することが毎日の業務でした。その他には、新型コロナウイルス対策の一つとして、派遣チームから報告される朝晩の検温チェックや、熊本のDMAT調整員の方のサポート業務(EMIS使用方法や連絡、記録など)を行いました。

今回の活動で特に心に残ったのは、ある地域の活動拠点本部の解散式に立ち会った際、活動された地元の先生が最後の挨拶の中で、「発災からこの日まで不安でたまらない時もありましたが皆様のおかげで何とか今日を迎えることができました。」と感極まりながら医療チームにお礼を述べられていたことです。



日本赤十字社は「人間を救うのは、人間だ」をスローガンに活動していますが、「人」が困っているとき、苦しい時に寄り添い、支えることができるのも「人」なのだと思えることができました。現地では十分な活動はできませんでしたが、少しでも誰かの支えになることができたのならこの上ない喜びです。

神戸赤十字病院 放射線科部 宮安孝行

日本赤十字社では、令和2年7月3日からの大雨災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けています。

詳しくはこちら → <http://www.jrc.or.jp/contribute/help/20200207/>

お預かりしました義援金は全額、被災自治体を通して被災地の皆さまにお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします。

## 学生ボランティア団体「Love the worldz」のオンラインイベントに参加

7月5日(日)、青少年赤十字メンバーが所属する学生ボランティア団体「Love the worldz」が主催するオンラインイベントに兵庫県支部も参加しました。本イベントはWeb会議ツールであるZoomを活用し、ボランティア団体の呼びかけにより、県を超え、また幅広い年代から多くの方の参加がありました。兵庫県支部は「赤十字について」と「新型コロナウイルスにかかる赤十字活動について」の講演を行いました。講演後、参加者は各グループに分かれ、赤十字に求めることや新型コロナウイルスと共存した新しいボランティア活動をテーマとしてディスカッションを行い、日頃の活動の情報共有やテーマに基づいた活発な意見交換などがなされ、大変有意義なイベントとなりました。



## 令和2年度第1回青少年赤十字活動運営会議をWebで開催

7月20日(月)、令和2年度第1回青少年赤十字活動運営会議をWebで開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として、初めて兵庫県支部主催のWeb会議を開催し、今後の青少年赤十字事業について協議検討を行いました。

会議冒頭、世良田兵庫県青少年赤十字協議会長から、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大により学校の休校が余儀なくされたが、ようやく学校を再開することができ、青少年赤十字活動も少しずつでも再開できることを期待しています。」との挨拶があり、また、兵庫県支部の久保事務局長が、「新型コロナウイルスの影響により全国的には青少年赤十字活動がほとんどできていない。兵庫県支部ではWebシステムを導入し、JRCメンバーが所属するボランティア団体とオンラインイベントを実施するなど、全国に先駆けて活動に取り組んでいる。新しい時代とともに新しい青少年赤十字活動として今後はWebシステムを積極的に活用し、活動の活性化につなげたい」と述べました。

会議では、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターが通常どおり開催できなくなったことから、Webシステムを活用して、本トレーニング・センターと学期ごとに開催している例会を合わせて実施することが決まりました。

今年度は新しい生活様式の中でできることを模索しながら、青少年赤十字活動を実施していく予定です。



## 青少年赤十字加盟校にひまわりの種を贈呈しました

兵庫県支部では、休校が続いた学校、児童・生徒の皆さんに、学校生活に潤いと元気を届けたい!と考え、6月に希望された青少年赤十字加盟校27校へ『ひまわりの種』の配布を行いました。27校を代表して、兵庫県立いなみ野特別支援学校と播磨町立蓮池小学校で贈呈式を行いました。兵庫県立いなみ野特別支援学校では、山本事業部長から小学部・中学部・高等部の皆さんに、播磨町立蓮池小学校では、大久保事務局長から1年生の皆さんに贈呈させていただきました。1年生児童は「毎日水をあげ、立派なひまわりを育てます!と元気いっぱい宣言してくれました。ひまわりと笑顔のお写真、お待ちしております!



## 青少年赤十字とは?

青少年赤十字では、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と、主体性を育むために「気づき・考え・実行する」という態度目標を掲げています。「青少年赤十字」に加盟登録することにより、赤十字が提供するノウハウや人材を学校教育の中で活用することができます。

詳しくはこちら → <https://www.hyogo.jrc.or.jp/school/join/>



いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。